



大阪市廃止＝都構想 「住民サービス」は 「維持」できません

収入が減らされ、
ばく大なコストがのしかかる「特別区」。
いまの住民サービスは、
とても「維持」できそうにありません。

「維持」は
「2025年1月1日
時点」だけ?

「協定書」に「住民サービスを維持」と明記しているのは、「特別区移行時」だけ、それから先是「維持に努める」と「努力目標」です。

10月7日、読売テレビ「ten」で、解説委員が公明党の肥後府議に「結局2025年1月1日までのことですね」と問うと、認めざるを得ませんでした。



「維持」とって
「有料化」された
「敬老バス」

2011年の知事・大阪市長ダブル選挙で維新の会は法定ビラで「大阪市はバラバラにしません」とか、「敬老バス制度は維持します」と「公約」しました(下の図)。ところが、橋下市長は当選後、「大阪市民はぜいたくしている」として「敬老バス」は「有料化」。

「維持」とっても制度を残すだけで、実際は後退させました。



そもそも
「向上」の話が
でてこない



「協定書」に「住民サービス維持を書いてほしい」とは公明党の要求に維新がこたえたものでした。しかし、「協定書」議論では「住民サービス向上」はすっかり消えました。「維持」の保障もありませんが、最大「維持」するためなら、いまのままで十分。「大阪市廃止」などとんでもありません。



Q.3 大阪維新の会は、敬老バスをなくすの? 地下鉄民営化になれば敬老バスがなくなるのでは?

A.3. 大阪維新の会は、敬老バスをなくしません。敬老バス制度を維持します。

敬老バスは、市民の税金で利用料金を支払っているため民営化してもなくなりません。
さらに高齢者にとって便利なものとするために私鉄でも利用できる制度にします。

2011年のダブル選挙で配布された維新のビラから

儀橋」だったといいますから、町民の勢いがわかります。

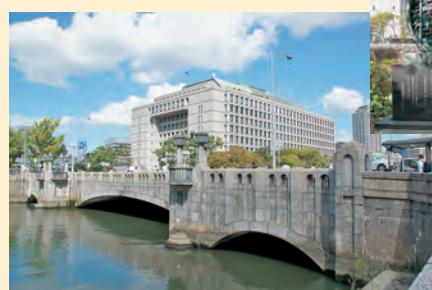
江戸は350ある橋の半分が「公儀橋」だつたといいますから、町民の勢いがわかります。

大阪は庶民のまち、歴史と文化と人情があふれるまちです。
江戸「八百八町」、京都「八百八寺」にたいして大坂(大阪)は「八百八橋」と称されました。当時、橋は200ほどしかありませんでしたが、そのなかで幕府が架けた「公儀橋」は「天神橋」「高麗橋」などわずか12。大半は町人が自腹を切って架けた「町橋」でした。「淀屋橋」も、江戸時代の豪商・淀屋が米市の利便のために架橋したのが最初です。

大阪市今昔物語

3

八百八橋



淀屋石碑

淀屋橋